

進路だより

第4号 H26.9.17

発行 南河内第二中学校進路指導部

第3学年 高校一日体験学習を終えて

*高校一日体験が無事終了しました。参加された3年生と保護者の皆様、暑い中お疲れ様でした。提出された3年生の報告書から、「体験内容、感想と今後の決意」を一部紹介します。

体験先 県立宇都宮女子高等学校 普通科

3年女子

以前から自由な校風とは聞いていたけれど、実際行ってみると、本当に自分で楽しもうでした。けれどもそれは生徒一人一人がしっかりしていて、目標を持っているからこそなのだとと思いました。

学校の説明で先輩が言っていたように、予習・復習が大切で、それは3年生である今から身に付けておくとよいことも分かりました。来年宇女高に通えるように、今はとにかく勉強を頑張りたいです。

体験先 県立宇都宮白楊高等学校 生物工学科

3年男子

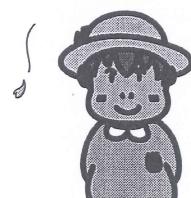
僕は、この高校をサッカーが強いという理由で、一日体験学習に参加しようと思ったけれど、実際に参加してみると、他にもたくさんよいところがありました。模擬授業も体験が多く、興味深くて楽しい授業でした。この体験学習で学んだことをふまえて、自分に合った高校を決めていきたい。

体験先 宇都宮文星女子高等学校 普通科こども福祉体験コース

3年女子

私は、2校時目に手遊びや先輩方が幼稚園に行って人形劇をやったビデオを見たり、エプロンシアターを見ました。3校時目には、造形をやりました。折り紙を使って、雪の結晶を作ったり、好きな形に切ったりつけたりしました。

先輩方は、親切に案内してくれたのでうれしかったです。保育実習ではなつかしい手遊びをやったり、造形あまり作ったことがない形などが作れて、とてもよい時間を過ごすことができました。



体験先 県立石橋高等学校 普通科

3年男子

「部活と勉強どちらも手を抜かずに頑張りたい！」と思う人が多く在籍しているという印象を受けた。勉強だけでなく、数多くの部活動や同好会が存在していて、文武両道を目指す学校なのだと、在校生の方が言っていた。高校でも部活動を続けたいと思う僕は、「石橋高校の文武両道で頑張る生徒」を目指して受検を乗り切りたい。

◎ 紙面の都合で、数校、数名しか紹介できませんが、体験を通して、高校のことが詳しく分かったり、新たな発見をして、その高校に対する認識が変わったという感想が多かったです。3年生は、体験学習で学んだことを生かして、進路実現のために頑張ってください。

第3学年 3年生と3年生の保護者対象 平成27年度高校入試説明会について

日時 平成26年10月7日（火）13：20～15：50

場所 南河内第二中学校 体育館



- ◎ 詳しい内容は、別紙案内通知をお読みください。
- ◎ 9月26日（金）に、私立高校の学校案内や入試の募集要項、一部の高校の願書をまとめて配布します。ご家庭で事前によく読んでおいてください。当日は、説明する私立高校の資料を学校を持ってきてください。
- ◎ 栃木県立高校の特色選抜入試や一般選抜入試についても説明します。

人生の先輩 に 学ぶ

税理士木村潔事務所

きむらともこ

税理士

木村 智子さん

大企業からまちの八百屋さんまで、自分で商売をしている人は、日々のお金の出入りをきちんと記録・集計している。なぜなら、お金のことをまとめた計算書は、商売の好不調を分析する資料となるし、収入や財産に応じて納める税金の額をはじきだす資料にもなるからだ。

税理士とは、こうした企業や個人事業者のお金の記録・集計や税金の計算をサポートする、いわゆる会計と税務のスペシャリストだ。<略>

それでは税理士は、企業や個人事業主などのお客様に具体的に何をしてあげられるのだろう。

まずひとつあげられるのが、本人に代わって日々のお金の出入りをきちんと集計することだ。

木村さんは、定期的にお客様のもとに出向いては、帳簿や領収書、請求書といったお金に関する資料をチェックしている。<略>

さらに税理士は、お客様の経営相談にものる。企業や個人事業主は、手元のお金がなくなら商売が立ち行かなくなる。それを防ぐにはお金をどう使っていいか。こうした商売の大変な部分を、お金のことについてまとめた計算書を分析することで、いつしょに考えていくのだ。<略>

税理士の役目はまだ他にもある。本業ともいえる、いわゆる税務のサポートだ。企業や個人は、毎年、収入や財産に応じて一定の税金を国やまちに納めなければいけない。しかしこれに「税金」といっても、法人税や所得税、消費税など種類はたくさんあり、なつかつ、それぞれに税金の計算のしかたは違うため、納税の手続きはかなりややこしい。だからこそ税理士が、複雑な税務の仕組みをきちんと理解した上で、お客様の税金の計算を手伝っていくのだ。

「5教科が仕事につながる 数学の時間」 ペリカン社 より

